

Japan Agricultural Cooperatives

2025

GOTO ISLANDS

ごとう

8

AUGUST

No.234



子牛せり、高値傾向で期待高まる
五島産素牛が金賞を獲得
生産部会出荷反省会

7月期牛せり
長崎和牛系統枝肉共励会
各種部会

畜産農家推進対策プロジェクト 発足
地域の農業を拓く大きな挑戦
ちゃぐりんフェスタ

支援対策強化
五島イノベーションセンター
女性部活動

ちゃぐりんフェスタ

毎年恒例の楽しい「ちゃぐりんフェスタ」
女性部があつまり楽しく味噌とアイスを作りました。



令和7年度 7月期 牛せり



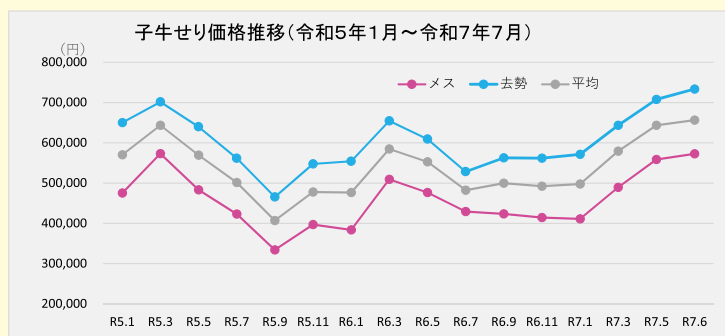
子牛せり、高値傾向で生産者の期待高まる

●五島だけではなく、県内各所で上昇傾向に。これからのせりに期待が高まります。

肉用牛

令和7年7月期のせり市が7月13日と14日の2日間、五島家畜市場で開催されました。159戸の生産者から合計578頭（子牛550頭、成牛28頭）が上場されました。2日間の子牛の平均価格は65万6392円となり、前回と比べて1万2887円上昇しました。平均では小幅な上昇に留まったものの、最高価格は100万円を超えるなど高値傾向が見られました。

この結果は生産者の意欲向上に繋がり、「今後少しずついい



令和7年7月期せり市成績表（子牛）

※税込、落札価格のみ税抜

性別	売却	落札価格	最高価格	平均価格	kg単価	平均体重	前回比
メス	264 頭	137,462,000 円	888,800 円	572,758 円	2,093 円	274 kg	102.5%
去勢	286 頭	190,734,000 円	1,034,000 円	733,592 円	2,447 円	300 kg	103.7%
合計	550 頭	328,196,000 円	1,034,000 円	656,392 円	2,285 円	287 kg	102.0%



ので価格が上がっていったという期待の声が聞かれました。一方で、「2期続けていい状態が続いているので、次回価格が落ちてしまうのでは」といった期待と不安が入り混じった声も聞かれました。

県内家畜市場も上昇傾向

7月に入り、県内の他の家畜市場でも顕著な上昇傾向が見られています。

7月18日・19日に開催された県南家畜市場では、子牛の平均価格が前回より3万7282円上がり62万5870円となりました。

また、7月21日・22日の平戸口中央家畜市場でも、平均価格が6万8230円上がり64万2751円という高値で、好調な結果となっています。

こうした家畜市場での価格上昇は、畜産農家の経営安定化に大きく貢献するものと期待されており、今後の市場動向が注目されます。



牛枝肉

第31回 「長崎和牛」系統枝肉共励会

五島産素牛が金賞を獲得

●五島牛の素牛が輝く！枝肉共励会で、金・銀W受賞の快挙

7月12日、佐世保市の佐世保食肉センターで「第31回長崎和牛系統枝肉共励会」が開催されました。

県内6JAから選抜された99頭（去勢79頭、メス20頭）が上場され、枝肉の品質を競いました。

そのうち22頭がJAごとう地区管内産の素牛で、針崎善昭さん（岐山

地区）の素牛が金賞一席を、木戸俊輔さん（山内地区）の素牛が銀賞一席を獲得しています。

今回は平均枝肉重量522.5kg、歩留まり66.2%、平均単価2723円/kgという高水準の結果となりました。

最優秀賞（グランドチャンピオン）に選ばれた牛の枝肉は、全国相場の



3倍となる7000円/kgの高値で落札されるなど、「長崎和牛」というブランド力のさらなる向上を印象づけました。

令和7年度 第31回「長崎和牛」系統枝肉共励会結果一覧

褒賞	地区	出品者名	出生産地	血統			性別	出荷体重	枝肉重量	BMS	格付	生産者
				父	母の父	祖母の父						
G.C賞	長崎西彼（三重）	岳下 肇	県南	勝乃幸	百合白清2	安福久	去勢	820	550.0	12	A5	
金賞一席	ながさき県央（東彼）	浪瀬 誠司	五島	勝乃幸	金太郎3	安福久	去勢	747	511.2	12	A5	針崎 善昭
金賞二席	長崎西彼（三重）	前田 博孝	壱岐	若百合	美国桜	平茂晴	去勢	851	564.5	12	A5	
銀賞一席	島原雲仙（吾妻）	前田 学	五島	福之姫	美国桜	華春福	去勢	847	570.4	12	A5	木戸 俊輔
銀賞二席	ながさき県央（東彼）	宮田 孝征	壱岐	勝乃幸	美国桜	安福久	去勢	767	524.1	12	A5	
銀賞三席	ながさき県央（東彼）	音辻 敏之	県南	百合幸	安福久	勝忠平	去勢	782	522.8	12	A5	
銅賞一席	壱岐市農協	堆肥センター	壱岐	勝乃幸	安福久	百合茂	去勢	819	562.1	12	A5	
銅賞二席	長崎西彼（三重）	前田 博孝	壱岐	隆安国	諒太郎	安福久	去勢	788	534.0	12	A5	
銅賞三席	島原雲仙（千々石）	小川 博信	県南	勝乃幸	若百合	美国桜	去勢	871	590.7	12	A5	
銅賞四席	ながさき県央（東彼）	(同)池野畜産	県南	勝乃幸	安福久	平茂勝	去勢	829	567.8	12	A5	

会反省会

生産部会において出荷
た。

ている課題や将来への
論が重ねられ、さらに
れの視点から意見交換
な時間となりました。

7月24日、JAごとう本店で
「令和6年産びわ出荷反省会」
を開催し、長崎の特産品である
びわの今シーズンの成果と課題
が共有され、さらなる品質向上
と安定供給を目指すための議論



ハウスびわ

れ、県内全体でも出荷数の減少
や小玉傾向が見られた一方で、
今年のびわのキロ単価は256
4円と、前年（2268円）を
大きく上回る113%という結
果になりました。

反省会では、今年度の活動計
画も共有され、毎年恒例の現地
講習会や視察研修会についても
活発な話し合いが行われ「毎年
楽しみにしている」との声も聞



中玉トマト

7月9日、「中玉トマト出荷
反省会」をJAごとう富江支店
で開催しました。

今年度の作柄については、作
付面積が85[㍗]、生産者戸数は6
名。例年になく猛暑に加え、台
風も接近するなかでの定植とな
り、厳しいスタートとなりました。
2月には大寒波が襲来し、
栽培・出荷ともに極めて厳しい
環境下での作業となった年でも
ありました。

それにもかかわらず、出荷実
績を見ると、反収は前年を上回
る約112%となり、厳しい気
象条件の中でも栽培技術の向上
が成果として表れました。

出荷規格の比率は、Mサイ
ズが33%、Sサイズが39%と全体
の約7割を占め、需要の高いサ
イズを安定して出荷できている
点も評価されました。

当日は市場関係者からの評価
や意見も共有されました。大阪
中央青果(株)担当者からは、11
月は全国的に小玉傾向が顕著で、
集荷量が前年を大きく下回り、
全国的に野菜の出荷が厳しい年
であったとの報告がありました。
長崎でじま青果(株)社担当者か
らは、五島ルビーの販売実績が
前年対比120%と好調だった
点が評価され、輸入品との競争
が激しい中でも固定客の存在を
感じられたと述べました。

「味・品質・数量」の継続が
今後のブランド力向上の鍵にな
るとの意見も寄せられました。



いんげん

JAごとういんげん部会は、
7月11日にJAごとう本店にて
出荷反省会を開催しました。

会議では令和7年産春いんげ
んの出荷実績が報告され、6月
30日時点では計画比71・9%昨
年比81・2%という結果となり
ました。

反収は856kgで、前年の約
68%とやや低迷していますが、
現在も出荷が続いており、出荷
量・反収ともに今後微増の見込
みです。

播種は2月下旬〜3月上旬に
一部圃場で行われましたが、低
温や干ばつの影響で発芽不良・
生育遅れが生じ、計画通りとは

ならなかった反面「キセラネオ」
品種は、計画比98%と、ほぼ達
成し、特に収量・品質面で好調
でした。

また、令和7年度の抑制いん
げん（いんげん2号・ステイ
ヤー）の作付面積は86[㍗]となり、
前年の108[㍗]から約80%に減
少しました。

現在試験的に栽培している
「キセラネオ」の品種について、
栽培している農家からは、「色・
形ともに綺麗ではあるが、収穫
のしづらさがある。市場での価
格が少しでも高ければ優位性が
あるが、現在ではなんとも言え
ない」と、栽培に関してのリア
ルな声が聞かれました。このこ
とに対し、農産園芸部は、「今
後も継続的に栽培しつつ関係
農家との現地検討会を開催し
たい。」と話しました。

JAごとう管内の各
反省会が開催されまし
各反省会では、抱え
展望について慎重に議
農家と販売者がそれぞ
を行う貴重かつ有意義



栽培では、例年8月下旬から始まる播種作業が、令和5年9月末まで続いた高温の影響で遅れ、生育にも大きな影響を及ぼしました。その結果、出荷数量は計画比54・8%にとどまり、高温や干ばつで根の活着が悪く

令和7年度産は、計画作付面積357^{ルア}（ハウス106^{ルア}・露地251^{ルア}）で、前年比87%の見込みです。今後も気象対応や病害虫対策を徹底し、安定した生産を目指します。

令和6年産ハウスびわの出荷実績は約8・8tで、前年度に
対し88%にとどまりました。

これは冬場の厳しい冷え込みによる育成の遅れと、出荷開始の遅れが主な要因として挙げら



令和6年産の栽培面積は477㊦(前年比93・1%)、生産者数は52戸(前年55戸)でスタート。植え付け後は高温・干ばつ傾向となり、発芽不良や灌水量の違いによる生育の不揃いが各地で確認されました。また、2月の降雪、3月の遅霜・寒風の影響で作型が約1か月遅れ、例年4月中旬に迎える出荷のピークが、今年は4月下旬～5月上旬

句となりました。過熟傾向や反収の押しも見られ、生産面では厳しい結果に。病害虫では「赤色斑点病」「さび病」、さらにカルシウム不足が原因とみられる「しみ病」が発生し、品質や収量に影響を及ぼしました。

会では、農家から「そらまめの需要」に関する質問があり、同席した「東京青果(株)」「大阪中央青果(株)」からは、「需要は年齢層に偏りがあるが、売上が落ちているわけではない。旬の高級食材として料亭などでも扱われている例もあり、市場に出す『タイミング』が重要だと考えています」との見解が述べられました。

今後も気象対応や品質の栽培技術の向上と品質の安定化が求められます。

和やかな雰囲気です。役員改選では新部会さん、副部会長に続き川口規一さんでした。

今後、講習会や的に行うこと、さらなる品質向上に向けて一丸となつていきます。

旬となりました。過熟傾向や反収の押しも見られ、生産面では厳しい結果に。病害虫では「赤色斑点病」「さび病」、さらに力ルシウム不足が原因とみられる「しみ病」が発生し、品質や収量に影響を及ぼしました。

会では、農家から「そもそも「需要」に関する質問があり、同席した「東京青果（株）」「大阪中央青果（株）」からは、「需要は年齢層に偏りがあるが、売上が落ちているわけではない。旬の高級食材として料亭などでも扱われている例もあり、市場に出す「タイミング」が重要だ」と考えています」との見解が述べられました。

今後も気象対応や品質の栽培技術の向上と品質の安定化が求められます。



畜産農家推進対策プロジェクトチーム 発足

新規プロジェクト

●JAごとうで畜産農家を応援する対策がスタート！関係機関が力を合わせて、地域畜産業の未来を築いていく取り組みです。

7月9日、JAごとう本店で「畜産農家推進対策プロジェクトチーム」のキックオフ会が開催されました。

すでに土壌分析などによる土壌環境改善支援を進めている野菜農家に続き、畜産農家への支援強化を目的に発足したプロジェクトで、JAごとう、JA全農、五島市、五島振興局、肉用牛部会といった多くの関係機関が出席し、今後の協力体制や支援の方向性について活発な意見交換が行われました。

会では、肥料・飼料価格の高騰や畜産物価の低迷といった課題が続くなかで、地域農業の持続性を高めていくこと



が大きなテーマとなりました。

具体的には土壌分析を促進し、土壌に適した使用肥料の提案と施肥量のアドバイスを行うことで牧草の品質向上を図り、より栄養価の高い自給飼料作りを目指す栽培指導です。

野菜・畜産の両面から地域農業を支える体制を整え、持続可能な畜産業の未来を築くための共通認識を深め、地域全体で連携して課題解決に取り組んでいく決意を新たにしました。



地域の農業を拓く大きな挑戦

●よりよい県政を目指し、知事が県民と直接対話を行う「こんな長崎どがんです会」がJAごとうで開催され、生産者や関係者各所と意見交換を行いました。



意見交換会

長崎県の次期総合計画に関わる地域別意見交換会「こんな長崎どがんです会」が7月15日、JAごとうを会場に開催されました。

会には大石賢吾長崎県知事をはじめ、生産者の代表など関係者が出席し、(株)福岡ソノリクを主体として建設予定の「五島イノベーションセンター」と「有機農業」をテーマに活発な意見交換が行われました。

この日話題の中心となった「五島イノベーションセンター」は、2027年の運用開始を目指す一大プロジェクト。農業の生産性向上と持続可能な地域づくりを目指し、主に甘藷の集荷・貯蔵を効率化する集出荷貯蔵施設の整備や、それに伴う産地拡大、物流改革が計画されています。

また、新規就農者や法人経営への支援、露地野菜の取り組み拡大にも注力。特に甘藷に関しては省力化と出荷体制の改善により、収益性の向上と産地化を進めていく方針。

離島ならではの物流課題を解決し、農産物の高付加価値化と新たな雇用の創出を図るこ



とで、一次産業でしっかり稼げる「五島モデル」の確立を目指しています。県は、島外からの農業参入も積極的の後押ししていくとしています。

さらに7月25日には、内閣府と国土交通省の職員がJAごとうを訪れ、「五島イノベーションセンター」について意見交換し、取組への理解と離島活性化の効果への期待も高まりました。

今回の意見交換会は、五島地域の農業がイノベーションと持続可能性を両立させながら、生産者の所得向上、地域の活性化、そして豊かな食の未来を実現するための一歩となり、関係者の強い意志と熱意が示された、非常に意義深い場となりました。



職員研修

結束を新たに！下地区職員研修大会開催

●組合の「今」と「あるべき姿」について、組合長の訓話を通じて共通認識を深め、職員間の結束を強固なものとなりました。

7月26日、勤労福祉センターにて下地区職員大会が開催され、当日は職員約100名が会場に集まりました。

大会は職員信条の唱和から始まり、職員表彰では、優秀職員表彰として2名、永年勤続表彰として2名、あわせて4名が表彰されました。

続いて行われた組合長の訓話では、「組合員に信頼されるJAこそが、あるべき組合の姿である」と熱く語りかける場面もあり、職員一同、真剣に耳を傾けていました。また、事業報告および計画の説明では、今後の方向性を全員で確認。

大会の締めくくりには、ガンバロー三唱で気持ちをひとつにし、地域農業の振興と地域社会の発展に貢献する決意を新たにしました。

これからも地域や農家の皆さまの期待に応えられるよう、職員一同、より一層精進してまいります。



下地区職員によるガンバロー三唱



35年以上の永年勤続により表彰

表彰理由	所属・氏名
優秀者	福江支店 管理金融課貸付 中里 拓海
優秀者	三井楽事業所 営農指導員 小村 篤志
永年勤続 (35年以上)	本店 金融部長 松田 初久
永年勤続 (35年以上)	本店 経済部長 入口 庄二



福江中学校
袋詰めや店内清掃に励む生徒たち。職員からは「助かった」との声もありました。



未来へつながる職場体験

●管内の小・中学校が職場実習に訪れました。様々なことを体験し、地域の子どもたちにとって将来を考える貴重な時間となりました。



地域貢献

6月下旬から7月上旬にかけて、職場体験や見学などで管内の各中学校生徒・児童がJAごとに訪れました。
富江中学校からは職場体験として直売所に2名が訪れ、商品の袋詰めや値札貼りなどを体験。「想像していなかった仕事だと思ったより多く、朝の準備が特に大変だった。」と話しました。
富江中学校からは富江支店に3名が職場体験に訪れ、管内施設を見学や、三菜加工所での選別も行いました。職場体験最終日には「JAごとうを選んだよかった！楽しかった！」と、うれしい声もありました。
久賀営業所では久賀小学校の児童2名が職場見学として訪れました。関係施設の見学や、「1日にお客さんは何人来ますか？」「人気商品はなんですか？」など、仕事に関するインタビューも行われ、和やかな雰囲気になりました。

富江中学校

職場体験を通じて、今まで関わることのなかった農家さんを身近に感じたと話していました。



久賀小学校

様々なことに興味津々な子どもたち。笑顔の絶えない職場見学でした。





見て・触れて・相談できる2日間



7月19日・20日の2日間、「下地区夏期合同展示会」が開催され、多くの組合員さんや地域の皆さまにご来場いただきました。

展示会では、冷蔵庫・テレビ・炊飯器など生活に身近な家電製品から、トラクター・耕うん機などの農機、そして自動車と、幅広い製品がずらりと並びました。

協賛各社の協力のもと、製品の専門スタッフも常駐。購入相談はもちろん、実際に見て、触れて、相談できる貴重な機会となりました。

中でも注目を集めたのは、日替わり「大特価抽選販売」。エアコンやフライパン、扇風機などが1日と2日でそれぞれ異なる目玉商品が登場し、来場者のみなさんも大いに盛り上がりました。暑い中でお来場いただいた皆さま誠にありがとうございました！



第12回 島空マルシェ

夏空の下、笑顔咲く「第12回 島空マルシェ」開催！



7月5日、本格的な夏の始まりを感じる快晴の空のもと第12回目となる島空マルシェが開催されました。

最高気温32度の真夏日にもかかわらず、今回も多くの皆さまにご来場いただきました。

会場にはお馴染みのキッチンカーが並んだ他、(株)アグリ・コーポレーションからは有機大麦茶や、五島市有機農業産地づくり推進協議会からは五島茶・マコモ茶などの出店もあり、地域の魅力をたっぷり発信。

らくスマイルが出店する「子ども体験コーナー」ではスライムやバスボム作りなど子どもたちに大人気の体験ブースが設けられ、元気な笑い声が響いていました。



JAごとう経済部からは夏の風物詩・焼きとうもろこしのほか、五島牛や五島美豚の串焼き、かき氷が登場。さらに、午後1時から特別ゲスト炎上太鼓振興会による「炎上太鼓」が披露され、迫力ある演奏で観客を圧倒。会場全体が盛り上がる素晴らしいステージとなりました。



ちゃぐりんフェスタ

絆深める夏休みの思い出

今年もＪＡごとう女性部がお届けする食農体験イベント「ちゃぐりんフェスタ」が7月26日に開催されました！

当日は、味噌作りやアイス作りなど、楽しみながら学べるプログラムが用意され、子どもから大人まで多くの参加者が「食」と「農」に触れ、学び、絆を深め、夏休みの思い出となる1日を過ごしました。

五島の豊かな恵みと地域を支える農業の魅力を、親子で一緒に体験できる貴重な機会となりました。



女性組織活動



味噌作り

茹でた大豆をつぶし、塩麴を混ぜ合わせ風通しのいい暗所で4ヶ月ほど保管すればできあがり！親子で仲良く大豆をつぶしていました。

アイス作り

好きなジュースが入った袋を、氷と塩を混ぜた袋に入れてシャカシャカ振ると…なんとアイスのできあがり！夏休みの研究にも活用できるアイスづくりでした。



交通安全キャラバン

交通ルールを学ぼう！

日時 2025年9月20日（土）

場所 福江文化会館（長崎県五島市池田町1-2）

1回目 11:00～
（開場 10:00）
2回目 14:00～
（開場 13:00）

チケット残りわずか！
お問合せはお早めに！

※入場はチケット制（無料）となります。（チケットがなくなり次第終了とさせていただきます。）

主催：ＪＡごとう お問い合わせ先：0959-72-6213（共済部）

※チケットを他人に譲渡したり、金品に交換することはできません。※カメラやビデオでショー内容を撮影するのはご遠慮願います。
※状況により開催内容が変更または中止となる場合がございます。あらかじめご了承ください。※個人によるトラブルや事故については、主催者は責任を負いかねます。



組合員限定

1年 適用金利

期間中、**当JA口座以外**より
新規でお預けいただける**個人**の方で、
下記のいずれかに該当する方

- ① 正組合員または准組合員の方(同一世帯の家族含む)
- ② 新たに組合員加入していただける方

年 **0.4** %
(税引後年0.318%)



当JAの普通貯金より新たに定期貯金へ

1年 適用金利

期間中、**当JAの普通貯金**より
新たに定期貯金へ
預け入れしていただける**個人**の方で、
JAカードを契約中もしくは
新たにご契約していただける方

年 **0.29** %
(税引後年0.231%)

特別金利1 または **特別金利2** で
新規お預け入れの方へもれなく

よりぞうグッズプレゼント!



預入金額

30万円以上
1,000万円以下

預入期間

1年 ※自動継続扱いのみと
なります。

※金利の適用は初回満期日までとし、以降は自動継続の継続日におけるスーパー定期貯金(単利型)の店頭表示金利を適用いたします。※満期日前に解約をされる場合は、JA所定の中途解約利率を適用いたします。※お利息に20.315%(国税15.315%、地方税5%)の分離課税が適用されます。

主食用米のJA出荷をお願いします

米の供給不足を受けて、JAごとうでは、地域の方々に地元でとれたお米を安心して食べて頂くため、下記の通り買取価格を設けました。

是非とも食用米の作付けとJAへの出荷をお願いいたします。

①買取価格(30kgあたり)・・・	1等	14,000円
	2等	13,500円
	3等	13,000円

②対象品種・・・	コシヒカリ・なつほのか ヒノヒカリ・にこまる
----------	---------------------------

～JAごとうからのお知らせ～

平素より当JAをご利用頂きありがとうございます。この度、諸般の事情により
8月18日(月)より、JAごとう玉之浦詰所の営業日及び時間を下記の通り変更させていただきます。皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い致します。

●営業日：**週3回(月・水・金)**

●営業時間：**8:30～12:00**

※休業日における対応は西部支店(☎0959-83-1121)にて承ります。

～組合員の皆さまへお知らせ～

先般開催されました、第24回JAごとう通常総代会におきまして、第8号議案として上程しておりました「定款の一部変更の件」が原案のとおり可決され、行政庁の認可を受けたことから、下記の通り出資金の限度額を変更させていただきます。本来であれば認可を受けた日より効力を生じ、変更をすべきところではありますが、システムの改修作業等により日程に遅れが生じております。組合員の皆様へはご迷惑をお掛けすることとなり申し訳ありませんが、何卒ご理解・ご協力の程、よろしくお願い致します。

限度額変更日：令和7年8月1日

変更後限度額：400万円

※また販売精算時の出資予約貯金振替率を下表の通り設定させていただきます。併せてご理解・ご協力の程、よろしくお願い致します。

変更前

出資金残高	振替率
200万円未満	1.5%
200万円以上	1.0%
—	—



変更後

出資金残高	振替率
200万円未満	1.5%
200万円以上 300万円未満	1.0%
300万円以上	0.5%

令和7年 お盆期間中の営業について

	一般業務	移動店舗	ATM	自動車・農機・LPG	人工授精	給油所	JAグリーン	直売所	Aコープ店舗
8月12日 (火)	平 常 業 務								
8月13日 (水)	平 常 業 務					午後5時迄営業			営 業 浦桑店(午後6時迄) 崎山店(午後5時迄)
8月14日 (木)	平 常 業 務								営 業 浦桑店(午後6時迄) 崎山店(午後5時迄)
8月15日 (金)	平 常 業 務								営 業 浦桑店(午後6時迄) 崎山店(午後5時迄)
8月16日 (土)	通 常 の 土 日 と 同 様 の 運 営								
8月17日 (日)									

施設作業員募集

作業場所	作業期間
育苗センター	3月～11月
アスパラ選果場	3月～10月
ブロッコリー選果場	12月～5月
高菜加工施設	12月～3月

詳細は本店 農産園芸部までお問い合わせください。
☎0959-72-6214

WEB年金相談会のお知らせ

年金についてのお困りごとを
社会保険労務士へ相談してみませんか？
開 催 日 毎月第2水曜日(祝日の際は翌営業日)
開催時間 1)09:00～09:50 2)09:50～10:40
3)10:40～11:30 4)11:30～12:20
※相談にあたっては事前のお申込みが必要です。
詳細は本店金融部までお問合せ下さい
☎0959-72-6212



青島 浄倫会館
誠意と真心でご奉仕いたします
事前のご相談も承ります

株式会社 JAごとう葬祭

【本店】
〒853-0041 長崎県五島市籠淵町 2450
電話 0959(72)8211 FAX 0959(74)5266

【上五島支店】
〒857-4404 長崎県南松浦郡新上五島町青方郷 355-7
電話 0959(52)2417 FAX 0959(43)1955



産直市場
五島がうまい

住所：〒853-0041 五島市籠淵町2450番地 1
電話：0959-88-9933 FAX：0959-88-9922
営業時間：9時～18時30分
9時～19時(7・8月)

※農家レストランは10時30分～14時(予約については別途)
休業日：棚卸日(9/末、3/末) 年始(1/1・2・3)

編集 後記

気づけばもう7月も終わり…。1か月が過ぎるのがあっという間で、「こ
うやって歳をとっていくんだなあ…」と、最近しみじみ感じています。
小6の娘がおりますが、今年はなんと夏休みの宿題を早めに終わらせる
タイプに成長していてびっくり。小学校低学年の頃は、夏休みの終盤に
「まだやってない！」と焦っていたのに…と、娘の成長を感じながら、自分の変わらな
さにも少し笑ってしまいます。
毎日うだるような暑さが続いています。体調にはくれぐれもお気をつけください。
(神藤 夢香)

次 第	議案事項
1	議案事項
議案No.1	2025年ディスクリ ジャー誌の開示について ※可決・承認された
議案事項 その他	



●JAごとうNo.234 ●発行/ごとう農業協同組合 編集/総務部企画管理課 〒853-0041 五島市籠淵町2450番地1 ☎0959-72-6211
●http://www.ja-goto.or.jp ●印刷/(株)昭和堂

※本書の無断転写、複製、複写を一切禁じます。